

(様式3)

農業研究成果情報

No.481

(平成22年5月)分類コード02-04

熊本県農林水産部

球磨地域における香辛料用トウガラシの有望品種

「羅帝」は「鷹の爪」より果実が大きく収量性に優れ、辛味がやや強く香辛料用の多収品種として有望である。

農業研究センター球磨農業研究所(担当者:泉 拓史)

研究のねらい

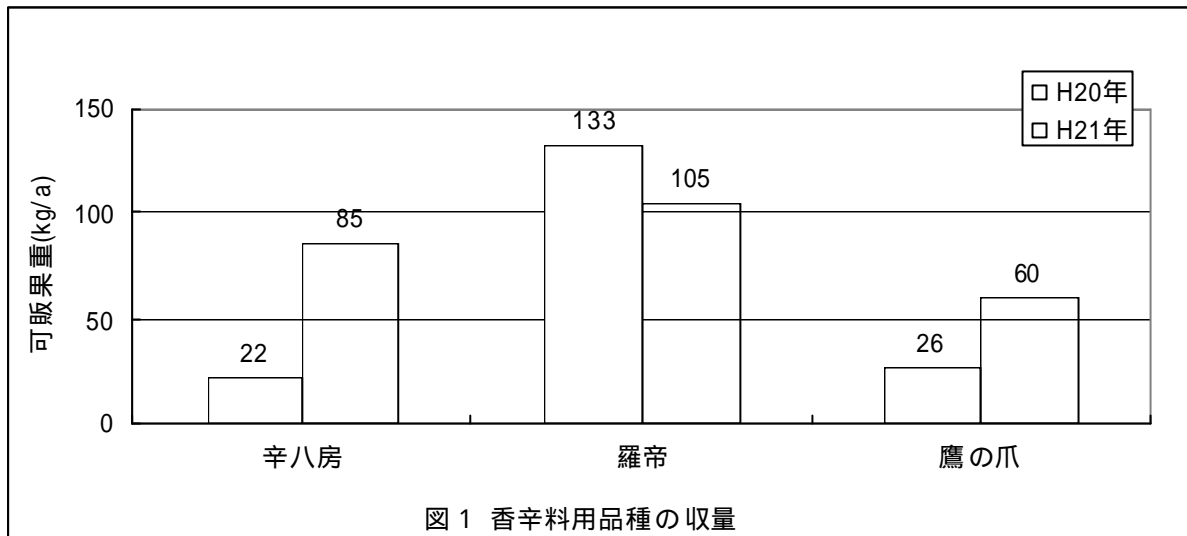
球磨地域では、露地で比較的容易に栽培でき、原料出荷が可能な香辛料用トウガラシの栽培面積が増えつつある。なお、原料出荷のため、辛味や風味等とともに収量性の高いことが求められている。そこで、収量が多い香辛料用トウガラシの有望品種を選定する。

研究の成果

1. 「羅帝」の可販果収量は、100~130kg/a程度と他の品種より多い(図1)。
2. 「羅帝」の果実は、「鷹の爪」に比べ、1果重が約3.0倍、果実幅が約1.3倍、果実長が約1.2倍で、辛味がやや強い(表1)。

普及上の留意点

1. 本成果は球磨地域の中央平坦部(標高166m)で実施した結果である。
2. 「羅帝」の草丈は「鷹の爪」より高く、定植後1ヵ月で60cm程度になるため、栽培に当たっては、支柱を立てるなどの防風対策を講じる。



注1) 畝幅100(H21)～120(H20)cm、畝高20cm、株間50cm、1条植え。白黒ダブルマルチ。

注2) 整枝は4本仕立てとし、第一次分枝以下の側枝および葉を除去した。

注3) H20は6月4日定植、H21は5月18日定植。

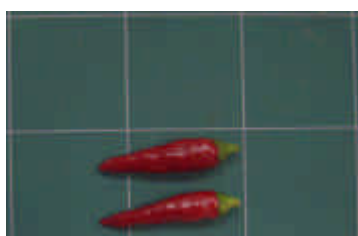
注4) 乾燥前生重収量。

表1 香辛料用品種の果実品質特性

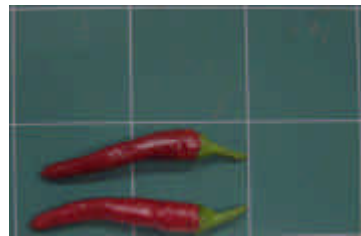
年度	品種	果実長 (cm)	果実径 (mm)	1果重 (g)	曲がりの程度 (mm)	辛味
H20	辛八房	6.4	12.6	2.4	2.2	4.5
	羅帝	8.7	12.3	3.4	2.9	4.2
	鷹の爪	7.4	8.6	1.9	5.1	3.5
H21	辛八房	4.9	11.4	2.1	1.6	-
	羅帝	6.7	11.1	3.4	3.5	-
	鷹の爪	6.0	9.2	0.8	3.0	-

注1) 果実長は両端を結ぶ直線の長さ、曲がりの程度はその線と最大湾曲部内側との距離を示す。

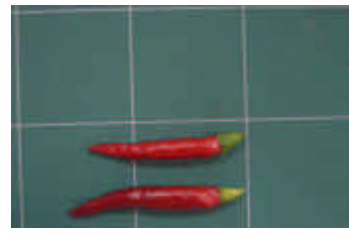
注2) 辛味は0:辛くない、1:わずかに辛い、2:少し辛い、3:辛い、4:かなり辛い、5:非常に辛い で評価した。



「辛八房」



「羅帝」



「鷹の爪」

図2 収穫時の果実写真

注) 1ますの長さは5cm。